

別紙4 外部でのデータ更新及び同一物質を扱う際の注意点

別紙4. 1. 支援ソフトの概要

支援ソフトは事業者において一人の担当者が自身のパソコンで使用することを前提としているため、複数の担当者による複数のパソコンでのデータ作成を想定したソフトにはなっていません。

また、届出に際し、同一物質（「物質名称－官報整理番号－CAS 登録番号」の組合せが同じ物質）を重複して届出することはできませんので、支援ソフトでは同一物質のデータを重複して登録できないようにしています。そのため、1事業者が複数の事業所で支援ソフトを用いて届出データを作成する場合は、同一物質の重複に注意する必要があります。

同一物質を複数の事業所で扱っている場合は、取りまとめ部署において同一物質を集約してください。

なお、集約にあたっては「別紙4. 2. 支援ソフト以外においてデータ更新を行う際の留意点」及び「別紙4. 3. 同一物質の取りまとめ方法について」を参照してください。

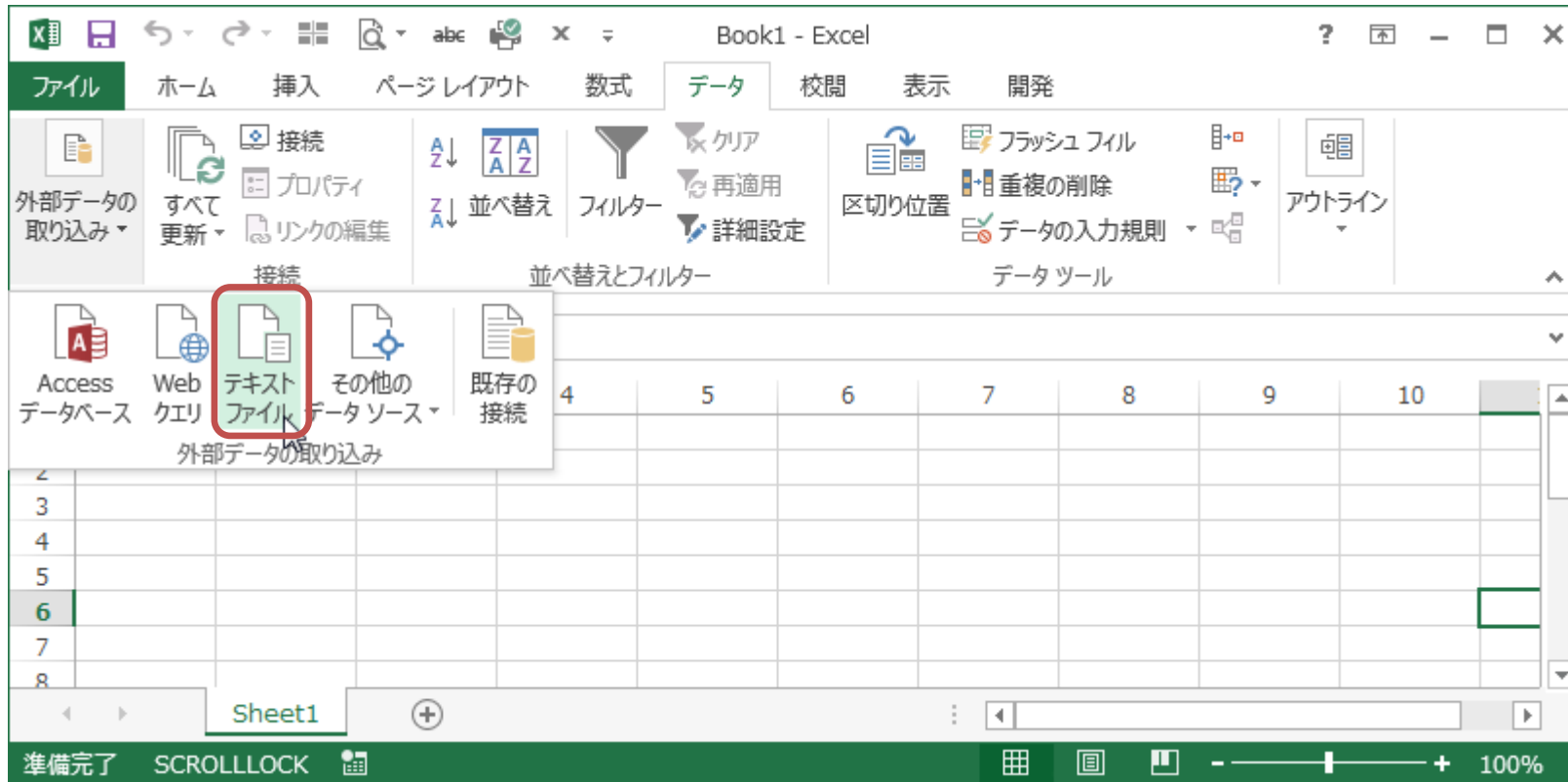
別紙4. 2. 支援ソフト以外においてデータ更新を行う際の留意点

支援ソフトからエクスポートした GSV 形式のファイルを Excel 2013 で開いた場合、Excel に備わっている機能により CAS 登録番号が日付に変換されたり「005」等のコード番号表記が「005」ではなく「5」という数字に変換されたりします。

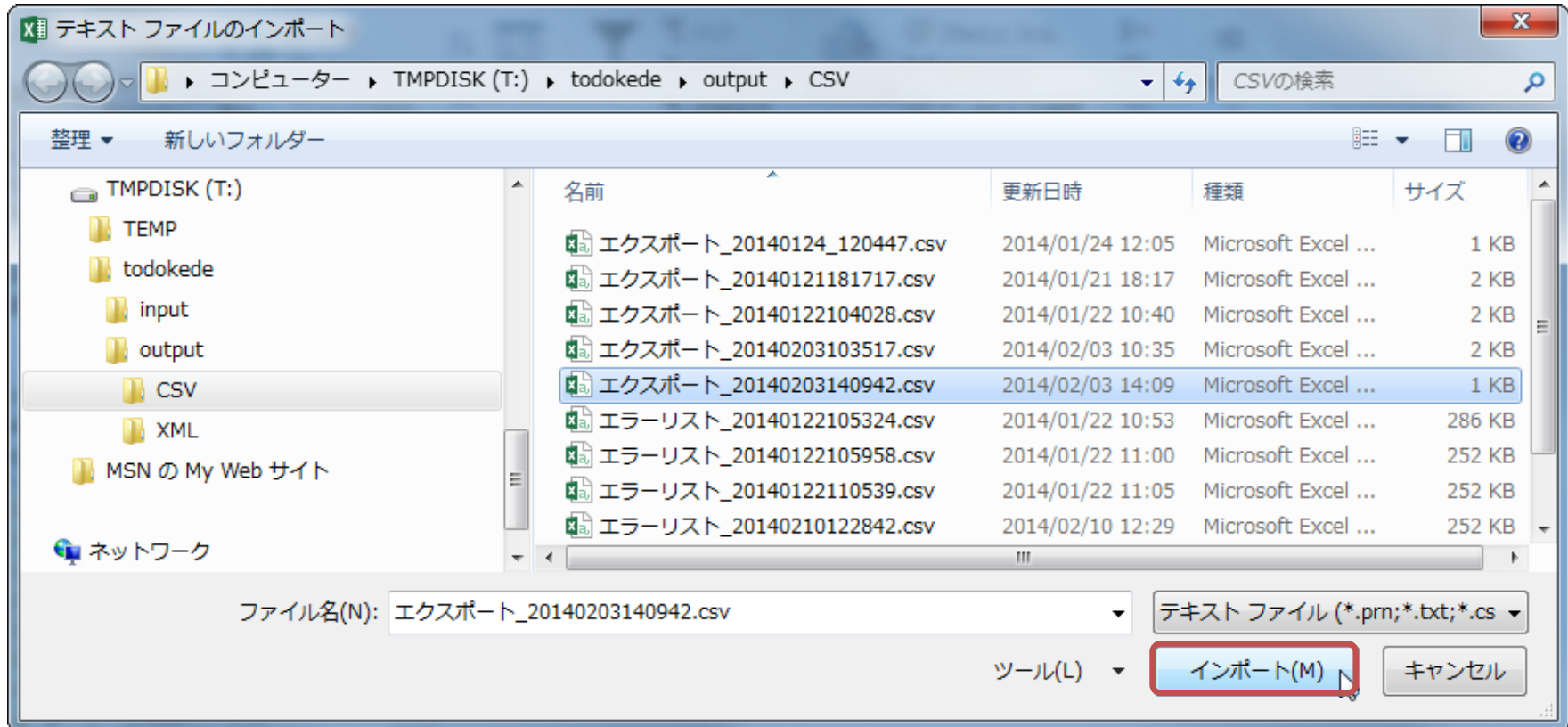
そのため、支援ソフト以外で修正した届出データを支援ソフトにインポートする際には、このような Excel 機能による自動変換を防ぐため、以下の方法で GSV ファイルを読み込む必要があります。

以下に Excel の参考例を示します。

- ① [データ]の[外部データの取り込み]の[テキストファイル]をクリックします。



- ② 取り込みを行う CSV ファイルを選択し、[インポート]をクリックします。



- ③ [カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ]を選択し、[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 1 / 3

選択したデータは区切り文字で区切られています。
[次へ]をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください：

カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)

スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

取り込み開始行(R): 1 元のファイル(O): 932 : 日本語 (シフト JIS)

先頭行をデータの見出しとして使用する(M)

ファイル T:%todokede%output%CSV%エクスポート_20140203140942.csv のプレビュー

1	,, , , , 担当者情報, , , , 物質情報, , , , , , , , , 年度計製造輸入出荷数量, , , , 事業所名・住所, , , 都道府県別製造数
2	H, 項番, 様式区分, 申請区分, 提出年月日, 担当者氏名, 所属部署名, 連絡先, メールアドレス, 辞書区分, 物質コー
3	, , , , , , , , , , 優・監, , , , , , , , , 優・監, 優・監, 優・監, 優・監, 優・監, 優・監, 優・監, 優・監, 優・監, 優・監, ,
4	D, 1, 11, 1, , , , , 1, 107872, 1, 1, ジシアンジアミド・ホルムアルデヒド重縮合物, , 7-520, 65505-09-1, 0, 26, , , , ,
5	D, 2, 11, 1, , , , , 1, 107791, 1, 1, エチル=2-(4-ヒドロキシフェノキシ)プロピオナート, , 3-3904, 65343-6

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

- ④ [カンマ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

タブ(T)

セミicolon(M)

カンマ(C)

スペース(S)

その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

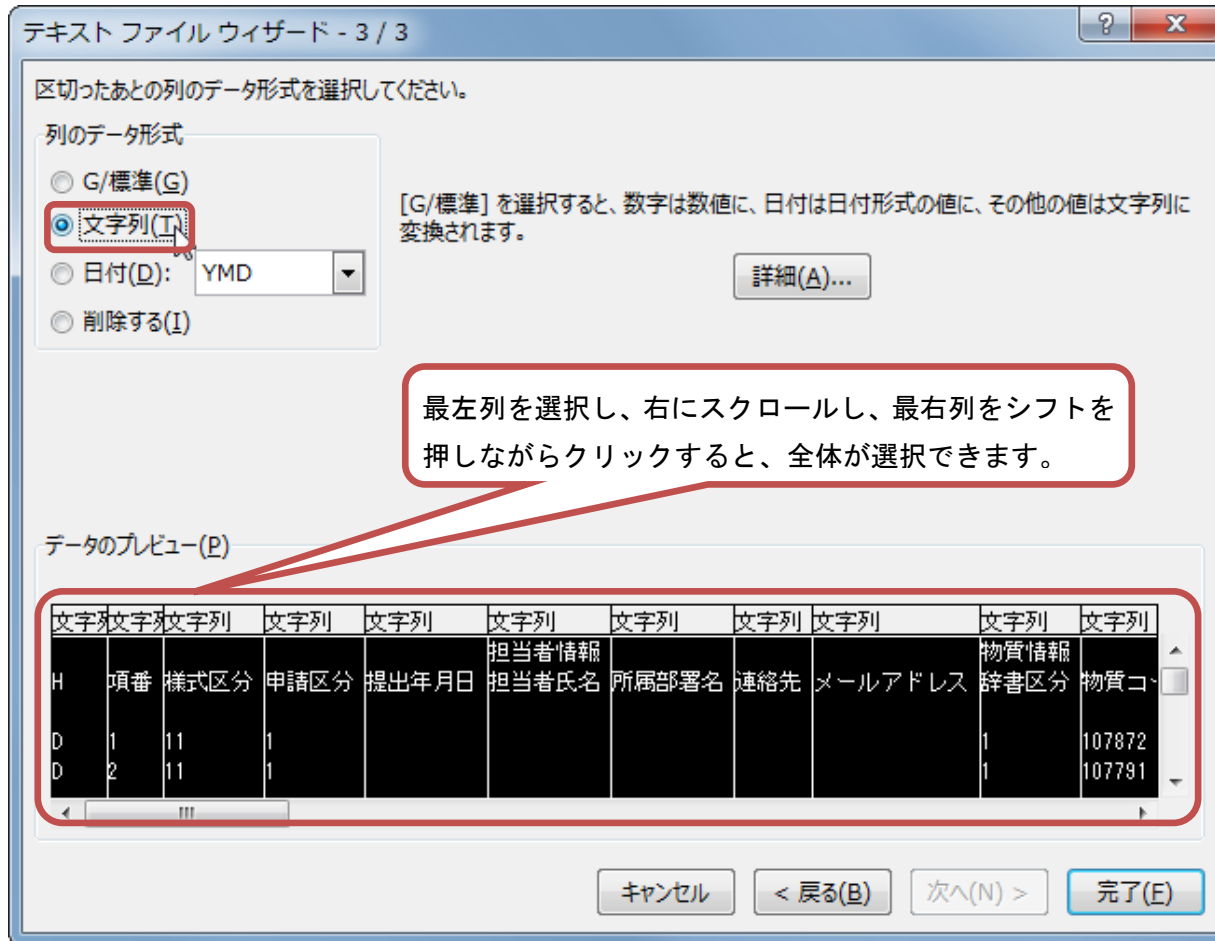
文字列の引用符(Q):

データのプレビュー(P)

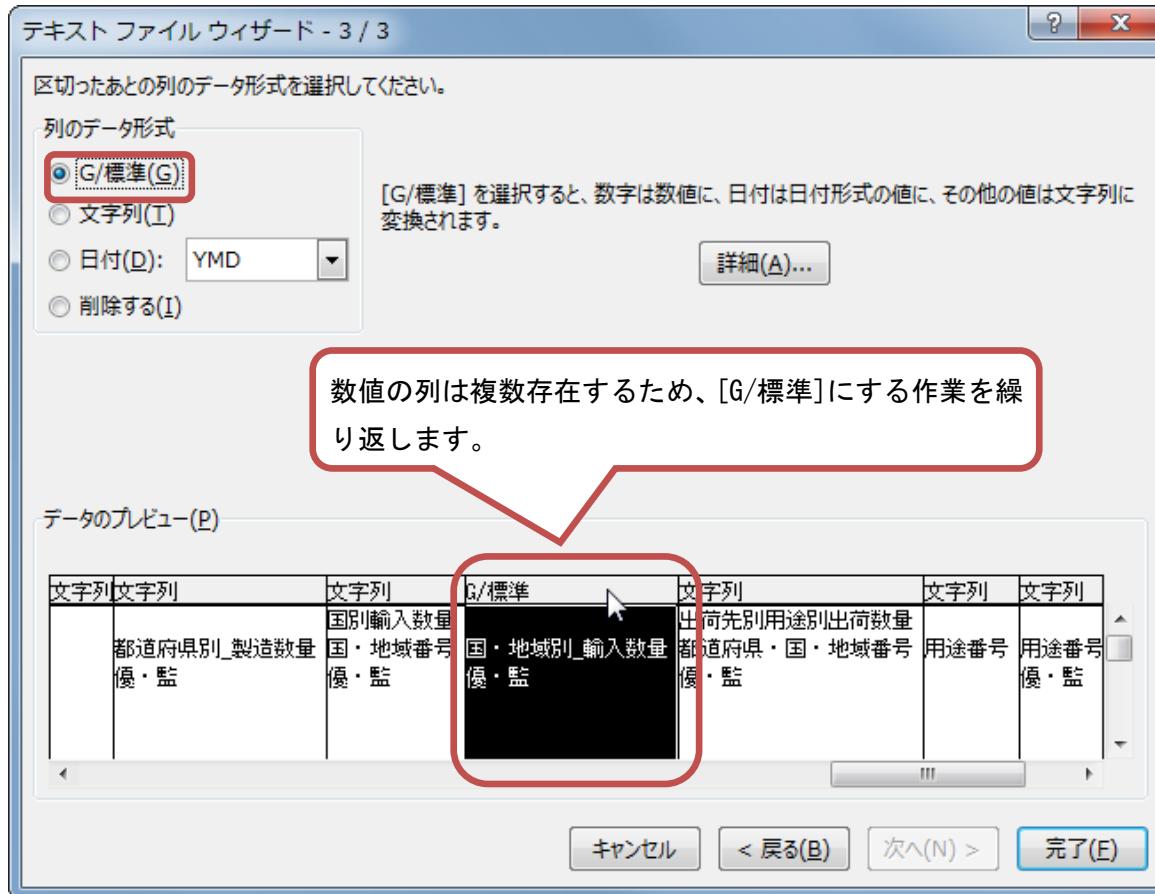
H	項番	様式区分	申請区分	提出年月日	担当者情報 担当者氏名	所属部署名	連絡先	メールアドレス	物質情報 辞書区分	物質コ
D	1	11	1						1	107872
D	2	11	1						1	107791

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) 完了(E)

- ⑤ データのプレビューで全てを選択し、[文字列]を選択します。



- ⑥ データのプレビューで数値が入力されている列を選択し、[G/標準]を選択します。



- ⑦ [完了]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

[G/標準(G)]

文字列(I)

日付(D): YMD

削除する(I)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

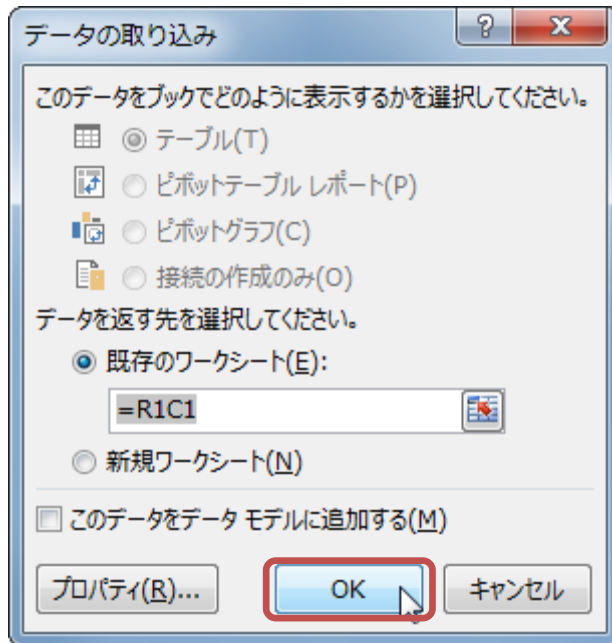
詳細(A)...

データのプレビュー(P)

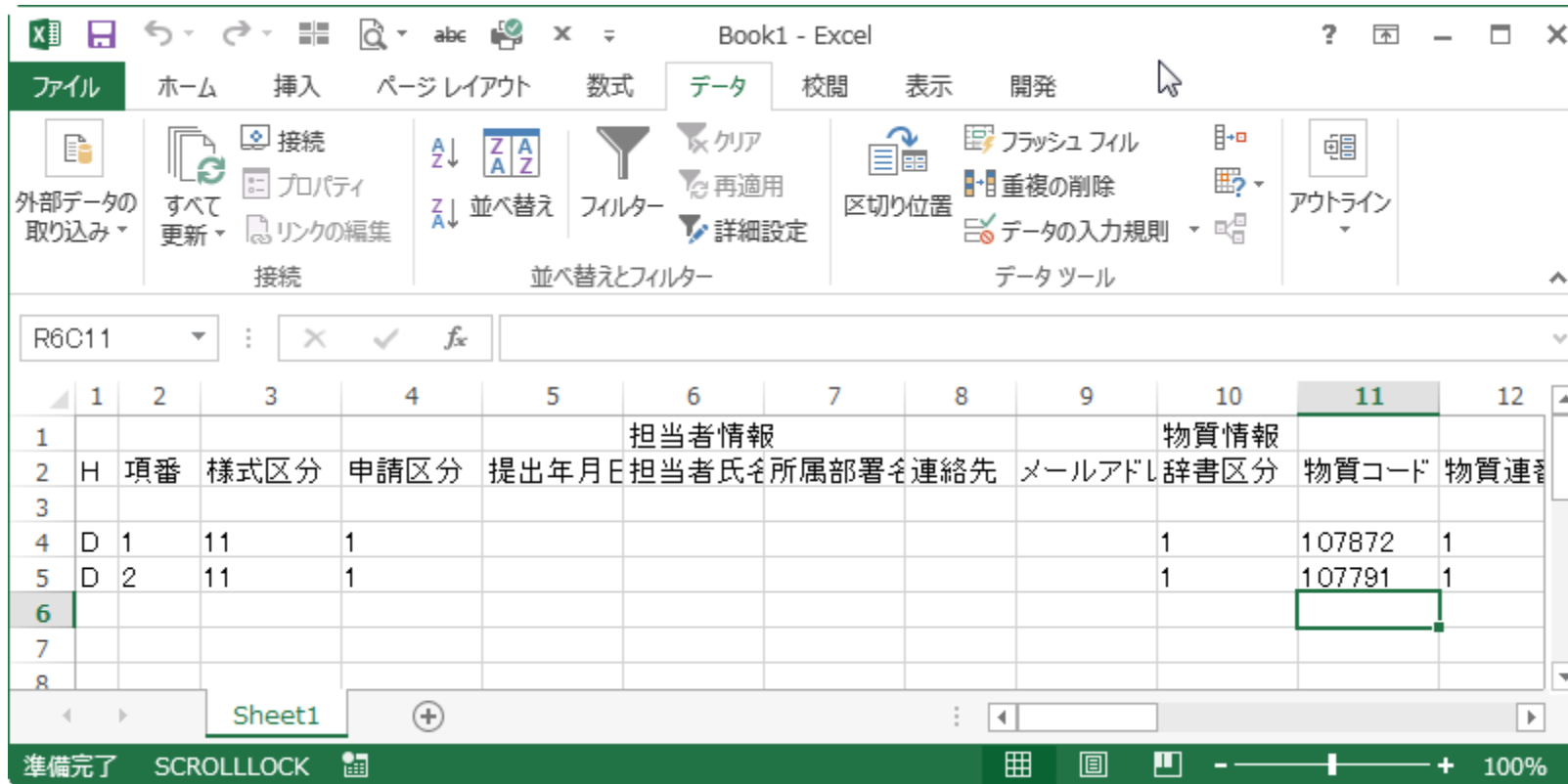
文	文字列	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準	文字列	文字列
	年度	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>
	年度	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>
	26	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>
	26	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>	年度計製造 <input type="checkbox"/>

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > **完了(E)**

- ⑧ [既存のワークシート]の左上のセルまたは[新規ワークシート]を選択して、[OK]をクリックします。



シートにデータが入力されます。



別紙 4. 3. 同一物質の取りまとめ方法について

同一物質を取りまとめる方法の一例を説明します。ここでは、2事業所の情報を取りまとめる場合の例を示します。

4. 3. 1. 各事業所での届出書データのエクスポート

各事業所において、支援ソフトから届出書データをエクスポートします。
エクスポートされたファイルを、届出書データ CSV ファイルと呼びます。
各事業所は、届出書データ CSV ファイルを取りまとめ部署に提供します。

4. 3. 2. CSV ファイルの集約

取りまとめ部署は、各事業所からの届出書データ CSV ファイルを表計算ソフトに取り込みます。
いずれかの事業所の届出書データ CSV ファイルを取りまとめ用ファイルに決めます。
他の事業所の同一物質のデータを取りまとめファイルに貼り付けます。

①取りまとめ用データの画面

化審法一般化学物質等製造（輸入）実績等届出システム

ヘルプ(H)

優先評価化学物質

提出予定年度 2024

【届出者の情報】
[法人番号] 1234567890123

高分子化合物の該当の有無

【物質情報】
[官報公示名称1] 二酸化炭素
[物質管理番号] 1 [官報整理番号1] 1-172
[物質名称]

【当該化学物質を製造した事業所名及びその所在地】

事業所名	コード*	都道府県	市区町村番地等
事業所名 1	001	001:北海道	1-1-1

【製造数量、輸入数量及び出荷数量】

2023 年度実績値

[製造数量] [輸入数量] [製造・輸入合計数量]

年度計 10 t 20 t 30 t

[出荷合計数量] 30 t

【当該化学物質を製造した都道府県別製造数量】

コード	都道府県	製造数量 (t)
001	001:北海道	10

【当該化学物質を輸入した場合は製造された国・地域別輸入数量】

コード*	国・地域	輸入数量 (t)
103	103:大韓民国	20

【当該物質の都道府県（又は国・地域別）ごとの用途別出荷数量】

- 用途情報は、化審法に基づくリスク評価を実施するにあたって、重要な情報です。適切な用途選択にご協力ください。
- 本来 #101「中間物」に該当するところ、他の用途（#113等）を選択する間違いが見受けられます。化学反応を起こし、合成原料として使用している場合等は #101 となります。
- 製造数量・出荷数量には、同一の製造・輸入者の事業所で全量他の化学物質に変化する数量を含めないものとする。

コード*	都道府県又は国・地域	コード*	用途分類	コード*	詳細用途	具体的用途	出荷数量 (t)
001	001:北海道	101	101:中間物	a	a:合成原料、重合原料、...		10
103	103:大韓民国	199	199:輸出用のもの	a	a:輸出用のもの		20

前頁 次頁 登録 添付ファイル 閉じる

図 4.3.2.1

②他の事業所の同一物質のデータの画面

化審法一般化学物質等製造（輸入）実績等届出システム

ヘルプ(H)

優先評価化学物質

提出予定年度

【届出者の情報】
 [法人番号]

高分子化合物の該当の有無

【物質情報】
 [官報公示名称1]
 [物質管理番号] [官報整理番号1]
 [物質名称]

【当該化学物質を製造した事業所名及びその所在地】

事業所名	コード*	都道府県	市区町村番地等
事業所名 2	002	002:青森県	2-2-2

【製造数量、輸入数量及び出荷数量】

2023 年度実績値
 [製造数量] [輸入数量] [製造・輸入合計数量]
 年度計 t t t
 [出荷合計数量] t

【当該化学物質を製造した都道府県別製造数量】

コード	都道府県	製造数量 (t)
002	002:青森県	30

【当該化学物質を輸入した場合は製造された国・地域別輸入数量】

コード*	国・地域	輸入数量 (t)
105	105:中華人民共和国	40

【当該物質の都道府県（又は国・地域別）ごとの用途別出荷数量】

- 用途情報は、化審法に基づくリスク評価を実施するにあたって、重要な情報です。適切な用途選択にご協力ください。
- 本来 #101「中間物」に該当するところ、他の用途（#113等）を選択する間違いが見受けられます。化学反応を起こし、合成原料として使用している場合等は #101 となります。
- 製造数量・出荷数量には、同一の製造・輸入者の事業所で全量他の化学物質に変化する数量を含めないものとする。

コード*	都道府県又は国・地域	コード*	用途分類	コード*	詳細用途	具体的用途	出荷数量 (t)
002	002:青森県	101	101:中間物	a	a:合成原料、重合原料、...		30
105	105:中華人民共和国	199	199:輸出用のもの	a	a:輸出用のもの		40

前頁 次頁 登録 添付ファイル 閉じる

図 4.3.2.2

③図 4.3.2.1 のデータをエクスポートしエクセルで開いたデータ

1	項番	様式区分	申請区分	丸め	提出年月日	担当者氏名	所属部署名	連絡先	メールアドレス	個別届出	辞書区分	物質コード	物質連番	物質区分	物質名称	物質管理番	MITI番号
2	1	12	1							1	1	57514	1	2	二酸化炭素	11-172	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	

図 4.3.2.3

※4.2 支援ソフト以外においてデータ更新を行う際の留意点を参照してファイルを開く
(都道府県のデータなど0で始まるデータが桁落ちするため)

④図 4.3.2.2 のデータをエクスポートしエクセルで開いたデータ

1	項番	様式区分	申請区分	丸め	提出年月日	担当者氏名	所属部署名	連絡先	メールアドレス	個別届出	辞書区分	物質コード	物質連番	物質区分	物質名称	物質管理番	MITI番号
2	1	12	1							1	1	57514	1	2	二硫化炭素		1 1-172
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	

図 4.3.2.4

※4.2 支援ソフト以外においてデータ更新を行う際の留意点を参照してファイルを開く
(都道府県のデータなど0で始まるデータが桁落ちするため)

⑤年度計_製造数量、年度計_輸入数量、年度計_製造・輸入合計数量、出荷合計数量の修正

●図 4.3.2.5 (合算前の取りまとめ用ファイル)

X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	
1	物質名称	年度	年度計_製造数量	年度計_輸入数量	年度計_製造・輸入合計数量	出荷合計数量	製造事業所の件数	製造事業所名	製造事業所都道府県番号	製造事業所所
2		2021	10	20	30	30	1	事業所名 1	001	1-1-1

●図 4.3.2.6 (他事業所の同一物質データ)

X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	
1	物質名称	年度	年度計_製造数量	年度計_輸入数量	年度計_製造・輸入合計数量	出荷合計数量	製造事業所の件数	製造事業所名	製造事業所都道府県番号	製造事業所所
2		2021	30	40	70	70	1	事業所名 2	002	2-2-2

●図 4.3.2.7 (他事業所のデータを合算した後の取りまとめファイル)

X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	
1	物質名称	年度	年度計_製造数量	年度計_輸入数量	年度計_製造・輸入合計数量	出荷合計数量	製造事業所の件数	製造事業所名	製造事業所都道府県番号	製造事業所所
2		2021	40	60	100	100	1	事業所名 1	001	1-1-1

取りまとめファイル(図 4.3.2.5)に他の事業所の同一物質(図 4.3.2.6)の「年度計_製造数量」、「年度計_輸入数量」、「年度計_製造・輸入数量合計」、「出荷合計数量」をそれぞれ加算した値に修正する。

⑥製造事業所の取りまとめ

●図 4.3.2.8 (挿入前の取りまとめ用ファイル)

	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO
1	出荷数量合計	製造事業所の件数	製造事業所名	製造事業所都道府県番号	製造事業所所在地	都道府県の	都道府県番	都道府県別	国・地域の	国・地域番	国・地域別	用途の件数	都道府県
2	30	1	事業所名 1	001	1-1-1	1	001	10	1	103	20	2	001

●図 4.3.2.9 (他事業所の同一物質データ)

	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL
1	出荷数量合計	製造事業所の件数	製造事業所名	製造事業所都道府県番号	製造事業所所在地	都道府県の件数	都道府県番号	都道府県別_製造数量	国・地域の件数	国・地域
2	70	1	事業所名 2	002	2-2-2	1	002	30	1	105

●図 4.3.2.10 (他事業所のデータを挿入した後の取りまとめファイル)

	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL
1	出荷数量合計	製造事業所の件数	製造事業所名	製造事業所都道府県番号	製造事業所所在地	製造事業所名	製造事業所都道府県	製造事業所所在地	都道府県の	都道府県番
2	100	2	事業所名 1	001	1-1-1	事業所名 2	002	2-2-2	1	001

取りまとめファイル(図 4.3.2.8)に他の事業所の同一物質(図 4.3.2.9)の「製造事業所名」、「製造事業所都道府県番号」、「製造事業所所在地」を挿入する。

取りまとめファイル(図 4.3.2.8)に他の事業所の同一物質(図 4.3.2.9)の製造事業所の件数を加算

⑦都道府県の取りまとめ

● 図 4.3.2.11 (挿入前の取りまとめ用ファイル)

	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS
1	製造事業所所在地	都道府県の件数	都道府県番号	都道府県別_製造数量	国・地域の件数	国・地域番号	国・地域別_輸入数量	用途の件数	都道府県・国・地域番号	用途番号
2	2-2-2	1	001	10		103	20	2	001	101

● 図 4.3.2.12 (他事業所の同一物質データ)

	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP
1	製造事業所所在地	都道府県の件数	都道府県番号	都道府県別_製造数量	国・地域の件数	国・地域番号	国・地域別_輸入数量	用途の件数	都道府県・国・地域番号	用途番号
2	2-2-2	1	002	30	1	105	040	2	2	101

● 図 4.3.2.13 (他事業所のデータを挿入した後の取りまとめファイル)

	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS
1	製造事業所所在地	都道府県の件数	都道府県番号	都道府県別_製造数量	都道府県番号	都道府県別_製造数量	国・地域の件数	国・地域番号	国・地域別_輸入数量	用途番号
2	2-2-2	2	001	10	002	30	1	103	20	2

取りまとめファイル(図 4.3.2.11)に他の事業所の同一物質(図 4.3.2.12)の都道府県の件数を加算

⑧国・地域の取りまとめ

● 図 4.3.2.14 (挿入前の取りまとめ用ファイル)

Excel: エクスポート_20220307152155.csv - Excel

	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
1	都道府県別_製造数量	国・地域の件数	国・地域番号	国・地域別_輸入数量	用途の件数	都道府県・国・地域番号	用途番号	用途番号_詳細	具体的用途	用途別_出荷数量
2	30	1	103	20	2	001	101	a		10

準備完了

● 図 4.3.2.15 (他事業所の同一物質データ)

Excel: エクスポート_20220307152416.csv - Excel

	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS
1	都道府県別_製造数量	国・地域の件数	国・地域番号	国・地域別_輸入数量	用途の件数	都道府県・国・地域番号	用途番号	用途番号_詳細	具体的用途	用途別_出荷数量
2	30	1	105	40	2	2	101	a		30

準備完了

● 図 4.3.2.16 (他事業所のデータを挿入した後の取りまとめファイル)

Excel: エクスポート_20220307152155.csv - Excel

	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
1	都道府県別_製造数量	国・地域の件数	国・地域番号	国・地域別_輸入数量	国・地域番号	国・地域別_輸入数量	用途の件数	都道府県・国・地域番号	用途番号
2	30	2	103	20	105	40	2	001	101

準備完了

取りまとめファイル(図 4.3.2.14)に他の事業所の同一物質(図 4.3.2.15)の国・地域番号、国・地域別_輸入数量を挿入する。

取りまとめファイル(図 4.3.2.14)に他の事業所の同一物質(図 4.3.2.15)の国・地域の件数を加算

⑨用途の取りまとめ

● 図 4.3.2.17 (挿入前の取りまとめ用ファイル)

	AT	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB	BC	BD	BE
1	国・地域別_輸入数量	用途の件数	都道府県・国	用途番号	用途番号_詳細	具体的用途	用途別_出荷数	都道府県・国	用途番号	用途番号_詳細	具体的用途	用途別_出荷数量
2	40	2	001	101	a		10	103	199	a		20

● 図 4.3.2.18 (他事業所の同一物質データ)

	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
1	国・地域別_輸入数量	用途の件数	都道府県・国	用途番号	用途番号_詳細	具体的用途	用途別_出荷数	都道府県・国	用途番号	用途番号_詳細	具体的用途	用途別_出荷数量
2	40	2	002	101	a		30	105	199	a		40

● 図 4.3.2.19 (他事業所のデータを挿入した後の取りまとめファイル)

	AT	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB	BC	BD	BE	BF	BG	BH	BI	BJ	BK	BL	BM	BN	BO
1	国・地域用途の件	都道府県用途番号	用途番号	用途番号	具体的用途	用途別_	都道府県用途番号	用途番号	用途番号	具体的用途	用途別_	都道府県用途番号	用途番号	用途番号	具体的用途	用途別_	都道府県用途番号	用途番号	用途番号	具体的用途	用途別_	出荷
2	40	4	001	101	a		10	103	199	a		20	002	101	a		30	105	199	a		40

取りまとめファイル(図 4.3.2.17)に他事業所の同一物質(図 4.3.2.18)の「都道府県・国・地域番号」、「用途番号」、「用途番号_詳細」、「具体的用途」、「用途別_出荷数量」を挿入する。

取りまとめファイル(図 4.3.2.17)に他事業所の同一物質(図 4.3.2.18)の用途の件数を加算

4. 3. 3. 全社数値への変更

製造数量、輸入数量、出荷数量等の数値を各自事業者の合計値に修正します（当該作業は支援システムにデータをインポートした後に実施することもできます）。総合計だけでなく、用途別の数値等も合計値にする必要がある場合もあります。

4. 3. 4. 支援ソフトへのインポート

取りまとめ用ファイルを支援ソフトにインポートします。